



あかまつ

登米市立浅水小学校学校だより

No. 5

平成18年5月10日(水)

学力状況調査について

昨年の10月27日(木)、28日(金)の2日間にわたり、県教育委員会実施主体の学力状況調査が実施されました。これは、児童生徒の学習状況を把握し、今後の宮城県の学校教育全体の改善や各学校での学習指導に役立てるといふものです。

この調査には、宮城県内の全ての小学校5年生と中学校2年生が参加しました。

3月末、県教育委員会から、まとめが届き、浅水小学校の結果分析、指導の方向等を策定いたしましたので詳細をお知らせいたします。

平成17年度 学習状況調査における解答の状況及び今後の指導の重点 登米市立浅水小学校

【国語】

※○優れている学習内容 ●課題となる学習内容

領域別正答率			解答の状況	今後の指導の重点
	本校正答率	県期待正答率	○話の意図を考えながら聞くこと ○さまざまな語句を用いての表現 ●物語文や説明文の読み取り ●辞書を利用して調べること ●文脈に即した漢字の使い方 ●段落相互の関係を考えること	<input type="checkbox"/> 文中の重要語句を手がかりに、文章の表現に即した読み取りの指導を行う。 <input type="checkbox"/> 辞書の活用を習慣化させ、言葉に対する意識を高めていく。 <input type="checkbox"/> 読む活動と書く活動を連動させ、国語力向上を図る。
話すこと・聞くこと	90.5	70.0		
書くこと	71.4	73.3		
読むこと	61.4	70.0		
言語事項	76.7	72.7		

【社会】

領域別正答率			解答の状況	今後の指導の重点
	本校正答率	県期待正答率	○交通安全についての資料の読み取り ○基本的な地図記号の理解 ●地図から住宅地を読み取ること ●等高線によって表される土地の傾き	<input type="checkbox"/> 課題を明確にして白地図や地図帳を活用できるようにする。 <input type="checkbox"/> 発達段階に応じた資料を提示し、他の資料や事象と関連付けて考えさせるなど、思考し判断する場を設けて指導する。
安全な暮らし	88.8	77.1		
くらしの移り変わり	92.1	72.5		
地形・土地利用	76.2	72.2		
わが国の産業	89.3	71.3		

【算数】

領域別正答率			解答の状況	今後の指導の重点
	本校正答率	県期待正答率	○指定された位での四捨五入 ○グラフの読み取り ●億単位の百倍 ●場面に応じた概数の求め方 ●小数の相対的な大きさや仕組みについての理解 ●小数の除法計算処理 ●割り算の被除数を求めること ●伴って変わる3つの数量関係	<input type="checkbox"/> 数の構成を視覚的にとらえさせたり、繰り返し指導を行ったりして数の仕組みや表記について確実に理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 問題場面の把握の仕方についてていねいに指導し、言葉や式に表す活動の充実を図る。
数と計算	70.5	72.0		
量と測定	78.6	66.7		
図形	76.2	77.5		
数量関係	89.3	68.6		

【理科】

領域別正答率			解答の状況	今後の指導の重点
	本校正答率	県期待正答率	○星の明るさや色の違い ○水滴についての理解 ○子宮内の子どもの育ち方 ●太陽と月の動き ●光電池に当たる光の強さと伝流の関係 ●ナナホシテントウの冬越し ●植物の成長条件について調べる方法の工夫	□自然の事物や現象に触れる機会を多く取り入れ、体験的活動を通して確実に知識が定着するようにする。 □疑問や課題に対して、先行経験や知識を想起しながら、自分の考えが持てるようにする。
地球と宇宙	78.6	77.1		
物質とエネルギー	81.0	68.5		
生物とその環境	78.9	66.9		

【学習意識調査】

○ほぼ全員が学習の大切さや必要性を認識しており、学習に対する意識も高い。
 ○学習理解について「分かる」が8割強を占めている一方で「半分しか分からない」と答える児童も1割強いることから、今後も児童一人一人に合ったきめ細かな指導に努める必要がある。
 ○家庭学習については「10分×学年」が定着している。読書を習慣化できるような声かけや環境整備に努める。

【本校児童の学習内容の達成状況について：浅水っ子は頑張ってる!!!】

県期待正答率に対する、本校の児童の正答率をみますと、国語、算数の一部の領域で期待正答率を下回るものがあります。しかし、ほとんどの領域で県期待正答率を上回っており、全体的には概ね満足できる状況にあるということが出来ます。県正答率との比較では、15領域中、下回るのは、国語の「読むこと」のみで、他の14領域は、全て上回っています。特に社会、理科については、全ての領域で、高い正答率を示しており、十分満足できる学習内容の達成状況にあります。

国語の「読むこと」については、理解を深める指導の工夫や改善に一層努めていく必要があります。その子どもの実態を受けて、今年度「読むこと」に視点をあてた校内研究を進めていきます。研究主題は、以下のとおりです。

考えながら読み、確かな学びを創る子どもの育成

—国語科「読むこと」における豊かな学習活動と個に応じたきめ細かな指導を通して—
 授業実践をとおして文を読み取る力を一人一人の子どもにしっかりと育てていきたいと思ひます。

また、5月30日(火)、31日(水)と3年生以上で、登米市の標準学力調査が実施されます。一人一人の学力の実態を把握し、その実態に応じた指導方法の改善を図るものです。

【教科及び範囲】

- 3年：国語、算数、生活・学習意識調査
- 4～6年：国語、社会、算数、理科、生活・学習意識調査
- ※範囲は、前年度までの学習内容

子どもたち一人一人の実力がしっかりと発揮できるように、ご家庭でもお励まし、お声掛けをよろしくお願いいたひます。3月に標準学力検査（CRT）の個人票をお渡ししました。お子さんの学習の状況が教科ごとに詳しく打ち出され、自己理解を助け、学習意欲が高まるような診断コメントが記述されています。診断コメントをお子さんと一緒に読んでいただき、学習の進め方等を確認していただければと思ひます。

今後とも、本校の学力向上の取り組みに一層のご理解とご協力をお願いいたひます。

土星, 木星, 分裂彗星を見る会



5月上旬から中旬にかけて周期彗星「シュワスマン・ワハマン第3彗星」が地球に接近します。11年前に核分裂を起こして明るくなり、さらに今回は、地球に約1,100万キロまで接近するため、肉眼でも見えると予測されています。彗星が昇ってくるまでは、望遠鏡で、土星、木星を楽しむことにします。
 ○5月12日(金) 7:30～21:00 浅水小学校校庭 雨・曇天中止
 ← 4/22 浅水小学校庭で撮影 ※夜間のこともあり、保護者同伴でお願いいたひます。